



みみずく通信

発行：すばなしの会みみずく

No. 1

2002.12.21

☆ 『みみずく通信』を発行することになりました。

みなさん、こんにちは。“すばなしの会みみずく”です。平成11年（1999年）10月に始まった会ですが、早いものでもう3年以上がたちました。その間に、たくさんのおともたちとおとなの方たちに、おはなしや絵本の楽しみを知ってもらおうと活動を続けてきました。

今回、その活動の一環として『みみずく通信』を発行し、おはなしや絵本についての情報をお届けしていくことになりました。まだ手探りの状態ですが、わかりやすく楽しい紙面を作りたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。（佐藤）



メリークリスマス！！



絵本・ぐりとぐらのおきやくさま

なかがわりえこ文、やまわきゆり絵、福音館

のねずみのぐりとぐらが、大きな足跡をたどっていくと、自分たちの家につきました。中にはだれかお客さまがいるようです。あちこちさがしていると…。

絵本・子うさぎましろのお話

ささきたづ文、みよしせきや絵、ポプラ社

子うさぎのましろは、からだにすみをぬり、クリスマスプレゼントを2度もらいました。ところがすみが落ちなくなってしまい、ましろはいけないことをしたと気がつきました。最後は、美しく心温まる結末で、クリスマスにふさわしい1冊です。

絵本・まりーちゃんのかくりすます

フランソワーズ文・絵、与田準一訳、岩波書店

まりーちゃんは、クリスマスにサンタクロースから何がもらえるか楽しみに待っています。でも、こひつじのばたぼんはプレゼントをもらえないと思っています。そんなばたぼんのために、まりーちゃんはプレゼントを入れてもらうくつを買います。すると…

絵本・グロースターの仕立て屋

ポター作、石井桃子訳、福音館

「ピーターラビットの絵本」シリーズの中の1冊。クリスマスまでに市長の上着を仕立てることになった仕立屋でしたが、病気になる寝込んでしまいます。そのかわりにねずみたちが縫った上着はすばらしいものでした。



読み物・サンタクロースって いるんでしょうか？

ニューヨーク・サン新聞社説、

中村妙子訳、偕成社

「サンタクロースっているんでしょうか？」という8歳の少女の質問に答えた新聞社の社説で「この世界でいちばんたしかなことは、目に見えないものだ」と訴えかけます。大人の方々にぜひ読んでほしい1冊です。



★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

1月18日（土）、2月15日（土）
午後3：00～3：30
西部図書館 お話し会のへや



みみずく通信

発行：すばなしの会みみずく

No. 2

2003.2.15

☆ 『みみずく通信』から雪のおたよりです。

みなさん、こんにちは。もう暦の上では春ですが、まだまだ雪の降る寒い日もあるようです。そこで今回は“雪”をテーマに本を選んでみました。雪の絵本を見ながら、もうすぐやってくる春を想うのもいいかもしれませんね。個人的にはひどい花粉症なので、春が来るのがちょっとこわいのですが…

さて、次回の『みみずく通信』は、春真っ盛りの4月に発行する予定です。春にちなんだ明るく楽しい絵本を紹介したいと思いますので、どうぞお楽しみに！（佐藤）



ゆき・ユキ・雪！！



絵本・ゆきのひのうさこちゃん

フルー十文、絵、福音館書店

雪の日とうさこちゃんがそりやスケートで遊んでいると、小鳥が寒くて泣いていました。かわいそうになったうさこちゃんは、おうちを作ってあげることにしました。

絵本・ゆうかんなアイリーン

ウィリアム・スタイク作、セーラー出版

かぜをひいたおかあさんにかわってドレスを届けることになったアイリーン。ところが雪も風も強くなるばかり。とうとうおかあさんがぬった大事なドレスが風に飛ばされ…

さて、アイリーンは無事ドレスを届けることができるのでしょうか？

絵本・つきよのみみずく

ヨーレン詩・ショーエンハール絵、偕成社

冬の夜更け、女の子は父親と一緒に森へみみずくに会いにでかけます。張りつめた冬の冷たい空気、女の子の緊張と喜び、そして、圧倒的なみみずくの姿が強く印象に残ります。

「月が まぶしく かがやく夜に
なんだか わくわくするものが
しずかに つばさをひるがえし
ひかりのなかを とんでいく」

絵本・ゆき

ユリ・シュルヴィッツ作、あすなろ書房

「雪はふらない」とおとなやテレビはいうけれど、雪はだんだん積もって街はすっかり雪景色。そのうち本屋の看板も動きだし…
名作絵本『よあけ』の作者による、雪の白さが美しい絵本。

科学絵本・雪の一生

科学のアルバム、あかね書房

みなさんは、雪の結晶を見たことがありますか？ひとつひとつ形が違って自然の不思議を感じさせられます。そんな雪の結晶を美しい写真で見せてくれるだけでなく科学的にきちんと説明してくれるのがこの本です。

絵本・雪渡り

宮沢賢治文、佐藤国男画、福武書店

四郎とかん子の兄妹が、仲良くなった子狐に幻燈会に招待されます。「キックキックトントン、キックキックトントン、凍み雪しんこ、堅雪かんこ」とリズムカルな宮沢賢治の文章に、佐藤国男の美しい版画がすばらしい一冊です。

子どもひとりではなかなか読みこなせないかもしれませんが、大人が読んであげればじゅうぶんその楽しさが味わえると思います。



★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

3月15日(土)、4月19日(土)
午後3:00～3:30
西部図書館 お話し会のへや